

計画事業番号	00312	事務事業名	放課後子ども教室事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4844
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北海道学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実施要綱			
事務事業開始年度	平成24年度		個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 3 節) 家庭・青少年健全育成の推進	
	(施策 3) 地域が支える健全育成活動の充実	
2 対象	小学1年～6年生	
3 目的と内容	放課後に小学校の余裕教室等を活用して児童の活動拠点を設け、学習や体育活動、地域住民との交流活動等を行い、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。 今後も条件が整備された学校から実施を検討する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金要綱の改正に伴い、放課後に限って実施 ・教育活動推進員及び教育活動サポーターの単価の見直し ・大曲小学校と双葉小学校の2校で実施 ・コーディネーター2名、教育活動推進委員18名、教育活動サポーター2名、NPO法人1団体を配置して学習支援等を行う。
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金要綱の改正に伴い、放課後に限って実施 ・教育活動推進員及び教育活動サポーターの単価の見直し ・大曲小学校と双葉小学校の2校で実施 ・コーディネーター2名、教育活動推進委員18名、教育活動サポーター2名、NPO法人1団体を配置して学習支援等を行う。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して放課後子ども教室を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆大曲小学校(登録133名) ・実施回数 1～2年:23回、3～6年:22回 ・1回あたり参加者 95.2名 ・延べ参加人数 2,218名 ◆双葉小学校(登録125名) ・実施回数 1～3年:15回、4～6年:15回 ・1回あたり参加者 108.4名 ・延べ参加人数 1,603名 	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して放課後子ども教室を開催する。 教育活動推進員及び教育活動サポーターの単価見直し	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して放課後子ども教室を開催する。	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して放課後子ども教室を開催する。

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。【2015推進計画にて拡大】	
1次評価	現状継続	児童の放課後の居場所づくりとして有効であり現状継続する。教育活動推進員、教育活動サポーターの登録数等の現状から大曲地区、団地地区での実施となっているが登録数拡大方法を含め、市内各地区での実施の可能性について検討する。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,498		1,886		1,860		1,860	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	658		851		851		851	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	840		1,035		1,009		1,009	
	① 合計	1,498		1,886		1,860		1,860		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.80	0.00	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00	0.80	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	6,720	0	0	3,600	0	3,600	0	3,600	
総事業費①+④			8,218		5,486		5,460		5,460	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 放課後子ども教室開催校数	目標値	2	2	2	2
		実績値	2			
	② 登録者数	目標値	300	330	330	330
		実績値	258			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	① 1回あたり参加児童数 【指標の定義(算式等)】	目標値	90	100	100	100
		実績値	101.8			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
	実績値					
③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	安全安心に子どもたちが放課後を過ごし、多様な体験の機会を得ることが求められており、安心して子育てを行ってもらう環境づくりとして必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	児童の半数以上の登録があり、子どもの居場所づくりとして効果がある。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	他地区での実施のためには、指導者の確保など諸課題の解決が必要となるが、指導者については、学校支援地域本部に登録しているボランティアへの働きかけを行うなどの改善を行い、課題解決に向けて取り組んでいる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	指導員確保のためには指導員の環境整備として謝金単価等の見直しが必要であり、現在のコストを削減する余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	-----------------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------